

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Wish室蘭				公表日	2026年 3月16日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		なるべく使う道具などは収納し、子供たちが楽しめるようにスペースの確保に務めている。	今後は隣の店舗も利用しながら、ゆったりとしたスペースを確保する。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		配置数は適切である。	送迎時人手不足の時がある。より質の良い支援の為に、職員数を1～2名増やし対応していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		入口に少しだけ段差はあるがそれ以外はバリアフリーになっている。	トイレ以外は手すりがないので必要に応じて取り付ける必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		運動、活動をする為に、ソファーなどは置いていない。	心地よく過ごせる環境が少ないのでゆったりするスペースが必要	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		部屋数がないので、今後は隣を借りるか、スペースを区切って対応する必要がある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的にミーティングをおこない振り返りなどおこなっている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ご意見に沿うように改善している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングをおこない業務改善に努めている	今後も継続する	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価をおこなっていただけるように努める。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修をおこなっている	今後も職員が学びたい研修など増やしていきたい	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表している。	毎年見直しをし公表する	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者などからお話を聞き適切に行っている	今後も継続する	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員の意見も聞きながら計画に反映している	今後も継続する	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画はだれでも見れるようにしている。	今後も継続する。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		振り返りをして確認している	今後も継続する	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域を意識して支援をおこなっている		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々リーダーを決め、みんなで実行している。	準備まで時間がかかっているのももう少し簡素化し職員の負担を減らしていく	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者さんに合わせておこなっているので固定していない	準備まで時間がかかっているのももう少し簡素化し職員の負担を減らしていく	

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団・個別と組み合わせその利用者さんに合わせておこなっている	今後も継続する
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、サービス提供後打ち合わせをおこなっている	今後も連携し支援をおこなっていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日おこなっている	今後も継続する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		おこなっている	今後も継続する
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングをおこない見直しをおこなっている	日々観察しモニタリングをおこなっていく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		手先など使う創作活動、公園や公共施設を利用したりと支援をおこなっている	今後も継続する
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		何かをおこなう時など、子供たちに選択肢を持たせるように声掛けをしておこなっている	今後も自己選択を大切に支援していく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加している	他のスタッフも一緒に参加できるときはしてもらう
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		ある程度連携できているところはありますが、ないところも多々ある	もっと多くの関係機関と連携するように努める
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との共有は迎えに行ったら先生とお話をしています。下校時間などは親御さんから聞いています	送迎時以外にも先生たちと話す時間を作っていただけるといいと思います
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		まだ卒業した児童がいません	今後は関係機関との情報共有をしていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		まだ卒業した児童がいません	今後は関係機関との情報共有をしていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターとは連携がとれている	研修などがあれば積極的に参加していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		一緒に活動するきっかけがないです	今後機会があれば活動していきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加できている	今後も継続しておこなっていく
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時、LINEで伝えている	今後時間を設けて話す必要もある
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		情報提供はおこなっている	今後は参加できるように考えていく必要がある
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に説明をしている	今後も分からないとき説明していく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的にお話をしながら、こどもやご家族の意向を確認している	今後も継続しておこなっていく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		得ています	今後も継続しておこなっていく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要な場合支援をおこなっている	今後も継続しておこなっていく

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		まだ保護者会等が出来ていない	今後は定期的におこなえるように努めていく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合早期に対応する	早急に対応できるように今後も継続しておこなっていく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		インスタグラム等で活動様子など発信しています	今後も通信なども発行していきたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの棚に書類などの整備している	今後も継続しておこなう
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		会話での理解が難しい方にはラインや文章などで伝えている	手話なども研修に組み込んでいけたらと思います
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		出来ていない	今後は地域のイベントなどに参加していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		ご家族に周知できていない	今後は必要な訓練等おこなっていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		作成はしているが訓練はできていない	今後は必要な訓練等おこなっていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		アセスメントし定期的に確認をおこなっている	今後も継続しておこなう
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		本人、保護者に確認している	今後も継続しておこなう
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		おこなえている	危険リスクをだしあって、状況を考えながら支援をおこなっている
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		周知できていない	LINEや直接話をして周知していけたらと考えている
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		おこなえている	その日のうちにミーティングで検討していく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		している	今後も研修会をおこなっていく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明している	今後も継続しておこなう	